

文部科学省委託事業

2020 ターゲットエイジ育成・強化プロジェクト

タレント発掘・育成コンソーシアム

第2回 アスリートディベロップメントパスウェイ国際会議

開催要項

1. 目的

国内外のアスリート育成パスウェイの専門家を招聘し、我が国のアスリート育成に係る関係団体・関係者を対象とした国際会議を開催することで、アスリート育成パスウェイに関する世界基準となっている基礎的な理論や先進事例等の最新情報の情報提供を行う。

また、アスリート育成における国際的な観点からのパスウェイ構築の重要性や在り方について情報を広く提供することで、参加者らがアスリート育成パスウェイ上におけるコーチングの質について重要性を考える契機となることを目的とする。

2. テーマ

COACHING as an Enhancer of Athlete Pathway.

3. 開催時期

平成 27 年 2 月 24 日 (火) ～25 日 (水)

4. 開催場所

味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室

〒115-0056 東京都北区西が丘 3-1 5-1

電話: 03-5963-0247

(最寄り駅; 都営三田線本蓮沼駅から徒歩 10 分)

5. 参加者

- ・NF (PF) 等の育成・強化の現場に関わるコーチ、育成コーチ
- ・国内スポーツ関係者 等

※定員 120 名

6. プログラム

(1) オープニングセッション (15分)

和久 貴洋 (情報・国際部長)

国際会議の開催に際して、本会議の開催趣旨および、アスリート育成パスウェイとコーチングに関する世界的な情勢について情報共有を行い、参加者の共通理解を図る。

(2) レクチャー (発表 45分、質疑 5分)

① 「アスリート育成パスウェイにおける“コーチング”という促進要因」

Dr. Jason Gulbin (Research Associate (Talent Development), Section for Elite Sports, Swiss Federal Institute of Sports Magglingen (SFISM))

アスリート育成パスウェイという考え方やそのフレームワークについて、アスリート育成パスウェイにおいて、パフォーマンス向上の促進要因としてコーチングがどのように機能するか、またパフォーマンストランジション時のコーチングに重要な要素について参加者の理解を促進する事をねらいに、オーストラリアにおけるタレント発掘プログラムを牽引し、その活動の理論化を推進してきた Gulbin 氏より、情報提供を行う。

② 「コーチングレベルを引き上げるスポーツ科学プログラム」

Dr. David Martin (Senior Sports Physiologist, AIS Combat Center, Australian Institute of Sport)

オーストラリアでは、AIS がタレント発掘を始めとした様々なアスリート育成・強化プログラムを展開している。AIS で実践されているアスリート育成・強化プログラムの事例について情報提供を行うとともに、アスリートのパフォーマンスを牽引する要因としてコーチングどのように機能するか、実践例からみたアスリート育成・強化における促進要因としてのコーチングについて考える。

(3) ケーススタディ (発表 25分、質疑 20分)

① 「ファーストステップにおけるコーチングの重要性」

Dr. Chester Alexander Hill (UCI & British Cycling, Coach trainer)

英国における自転車競技のアスリート育成パスウェイについて解説するとともに、長期的な視野でのアスリート育成パスウェイにおいて、才能あるタレントをエリートアスリートへと導くために、競技との出会いの段階でコーチとして必要な観点や、競技スタート時のアスリート育成プログラムにおけるコーチングの要素について、長年に渡りコーチ育成に携わる Hill 氏の立場から、情報提供を行う。

② 「世界というゴールを見据えて、今をコーチする」

櫻井 準人 氏 (公益財団法人日本テニス協会、男子ジュニアヘッドコーチ)

近年、日本の男子テニス種目は戦略的に育成を継続し、顕著な成績を残している。タレントから世界へ戦いの場を移すアスリートへ至る段階において、其々の年代に合わせたコンセプトのもと、継続的に育成アスリートプログラムが運営されている。

本セッションでは、日本テニス協会男子ジュニアヘッドコーチである櫻井氏より、ナショナルタレントから国際大会へ出場する育成アスリートへ至るための育成プログラムの構造や其々の年代に応じたコーチングの観点について解説し、参加者らがアスリート育成について長期的な視野を持つことの重要性に触れることをねらいとする。

③ 「メダル獲得のためのコーチングというチャレンジ」

Mr. Oleg Matseichuk (公益社団法人日本フェンシング協会、男子フルーレ統括コーチ)

フェンシング男子フルーレ種目は、北京オリンピック個人銀メダル、ロンドンオリンピック男子団体銀メダルなど国際舞台で活躍するフェンサーを輩出している。本セッションでは、既に国際大会等に出場する育成、強化アスリートを更に上のレベルへ引き上げ、オリンピックなどの国際的な舞台でメダルを獲得するために必要になる、コーチングの要素について、フェンシング日本代表チームの男子フルーレ統括コーチである Oleg 氏より情報提供を行う。

④ 「オールブラックスを生み出すコーチングとは何か」

Mr. Matt Sexton (High Performance Talent Identification Manager, New Zealand Rugby Union)

男子ラグビー競技における強豪国である、ニュージーランド代表 (オールブラックス) は初めて国際試合を行った 1903 年以來、対戦した全ての国に勝ち越しており、伝統的に強固なパスウェイが構築されているといえる。わずか人口 440 万人程のニュージーランドにおいて、いかにアスリートが発掘・育成され、どのようなコーチングがなされているのか。

伝統的で強固なアスリートパスウェイ構築の事例について自らもトッププレーヤーとして活躍し、現在は NZRU のタレント発掘マネージャーである Sexton 氏が解説する。本セッションでは、参加者らが海外における伝統的で強固なアスリート育成パスウェイの情報に触れることをねらいとする。

(4) パネルディスカッション (60分)

① 「アスリート育成パスウェイにおける促進要因としてのコーチングを考える」

(モデレーター； Dr. Jason Gulbin、 パネラー； 招聘講師)

2日間のレクチャーや、ケースステディでの情報提供を受けて、Gulbin氏をモデレーターに、スポーツ生理学者や元アスリートとしての経験、コーチなど、登壇者がそれぞれの専門の立場から意見交換を行う。

参加者らが、アスリート育成パスウェイはグラスルーツからポディウムアスリートまで総て繋がっており、最終的なゴールを見据えてコーチングにあたることが重要であることを考える契機となる事をねらいとする。

(5) クロージングセッション (30分)

勝田 隆 (スポーツ開発事業推進部長)

本会議の総括を行うとともに、本会議において検討されたアスリート育成パスウェイにおける促進要因としてのコーチングに関する提言を発表する。

7. スケジュール

1日目 2月24日 (火)	
13:00~	受付
13:30~	開会宣言
13:45~	オープニングセッション
14:00	和久 貴洋 (情報・国際部 部長)
	休憩
14:15~	Lecture 1 「アスリート育成パスウェイにおける“コーチング”という促進要因」
15:00	Dr. Jason Gulbin, Swiss Federal Institute of Sports Magglingen (SFISM)
	休憩
15:30~	Case Study 1 「ファーストステップにおけるコーチングの重要性」
16:15	Dr. Chester Hill, Southern Cycle Coaching
	休憩
17:15~	Case Study 2 「世界というゴールを見据えて、今をコーチする」
18:00	櫻井 準人氏、公益財団法人日本テニス協会、男子ジュニアヘッドコーチ

2日目 2月25日(水)	
10:00～	Morning Adress
10:15～	Lecture2 「アスリートのパフォーマンスレベルを引き上げるプログラムとそれを支えるコーチング」
11:00	Dr. David Martin, Australian Institute of Sport (AIS)
	休憩
11:30～	Case Study3 「メダル獲得のためのコーチングというカギ」
12:15	Mr. Oleg Matseichuk、公益社団法人日本フェンシング協会、男子フルーレ統括コーチ
12:15～	式典(調整中)
12:45	
	昼食
12:45～	Case Study4 「オールブラックスを生み出すコーチングとは何か」
14:30	Mr. Matt Sexton, New Zealand Rugby Union
	休憩
15:00～	Panel Discussion 「アスリート育成パスウェイにおける促進要因としてのコーチングを考える」
16:00	モデレーター ; Dr.Gulbin パネリスト ; Dr. Hill, 櫻井氏, Dr. Martin, Mr. Matseichuk, Mr. Sexton
16:30～	クロージング
17:00	勝田 隆 (スポーツ開発推進部 部長)

8. 参加申込み

氏名、所属・役職、連絡先(メールアドレス、電話番号)を明記の上、
int.pathway@jpnssport.go.jpへ2月20日までにメールにてお申し込み下さい。

※ 担当者より確認のメールを送信するため、「jpnssport.go.jp」のドメインを受信できるように設定をお願い致します。

9. 問い合わせ先

独立行政法人日本スポーツ振興センター タレント発掘・育成コンソーシアム

(担当:パフォーマンスパスウェイユニット)

電話: 03-5963-0247

FAX: 03-5963-0374

Email: int.pathway@jpnssport.go.jp

10. その他

- (1) 同時通訳機のご用意をしております。(英語⇄日本語)
- (2) 参加費は無料です。
- (3) お越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。